

## 二輪車の交通事故防止 (特に、若年者を含めたマナーアップの推進)

県内の  
三輪車(オートバイ)事故の  
発生状況

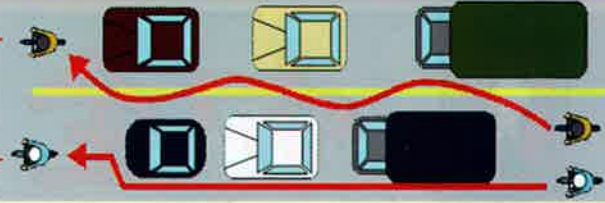
- 二輪車事故の発生件数は人身事故全体の約3割を占め、その5割の二輪車に違反があります。  
【H24年・全人身事故件数6,697件 → 二輪車事故件数1,881件(全体の28.1%)】
- 事故の態様は、「出会い頭」「右折×直進」の事故が約5割を占めています。
- 特に、「午前7時～8時」と「午後6時～7時」の時間帯に多発しています。

# こんな危険な運転していませんか？



**進路変更禁止違反**  
【反則金】 二輪: 6千円  
原付: 5千円

**追越し違反**  
【反則金】 二輪: 7千円  
原付: 6千円



- ★渋滞間のすり抜けはやめよう!
- ★急な進路変更や割り込みはやめよう!
- ★ヘルメットは正しくかぶろう!

渋滞した車両間をすり抜けるような  
“マナーの悪い運転”が  
事故に直結しています。

## 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止

### 子どもと高齢者の交通事故防止

夕暮れには「**反射材**」が有効です!

子どもと高齢者自身の交通安全意識の高揚を図るとともに、職場・家庭・地域ぐるみで子どもと高齢者に対する保護意識の醸成を図ることで、交通事故を防止します。



### 自転車安全利用五則

自転車は「**車のなかま**」です!

- 自転車は車道が原則、歩道は例外
- 車道は左側を通行
- 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- 安全ルールを守る
- 子供はヘルメットを着用

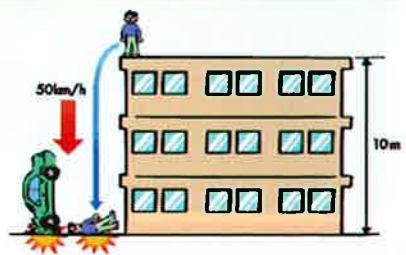


## 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

### シートベルトの着用効果 ～シートベルトをしないとどうなるの?～

時速50kmで静止している壁に衝突した場合、乗員は、高さ10mからコンクリートの地面に叩き付けられたのと同じ程度の衝撃を受けることとなります。車内では体を拘束していないと、想像を絶する衝撃を受けることになり、時には車外に放出されることもあります。

シートベルトで体を固定しておけば前方への移動をくい止めるブレーキの役割を果たして、乗員を衝撃から守ってくれます。



### チャイルドシートの正しい着用 ～知っていますかその役割～

時速40kmで衝突した場合、体重10kgの子供は、300kg相当となり、車外に飛び出したり、ダッシュボードに激しくぶつかったり、大人のクッション代わりになってしまいます。母親が抱っこしていても子供を守れないのです。

#### チャイルドシートのぐらつき

チャイルドシートの上部を引っ張って3cm以上動かなら、もう一度しっかりと締め付けて下さい。  
正しく取り付けなければ、その性能を発揮できません。



#### チャイルドシートで ベルト未使用

チャイルドシートを正しく取り付けていてもベルトを締めずそのまま着座させているだけでは、子供は守れません。



#### チャイルドシートのぐらつき

後ろ向きで使用するチャイルドシートは事故の衝撃でエアバックが膨らんだとき、瞬間的にはね飛ばされ、子供に重大な傷害を与える場合があります。

## 飲酒運転の根絶

### 飲酒運転の リスクを 再認識!

～それでもあなたは、  
飲酒運転するの?～

